

基本情報						
教科・科目		高2理系（国語探究）現代文		・授業で使用するもの ・教科書「論理国語」（大修館） ・「大学入試に出た核心漢字2500＋語彙1000」（尚文出版）		
担当者		北村				
評価割合（試験：試験外）		試験:6（60%） 試験外:4（40%）漢字テスト、ワークシート等課題の提出内容				
年間を通じて教科で培う力		鍛錬（知識及び技能）		実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。		
		理解（思考力・判断力・表現力等）		論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。		
		探究・観智（主体的に学習に取り組む態度）		言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
学習情報						
月	回	単元（学習）目標	単元目的（到達状態）	学習内容	活動内容	評価方法・ポイント
4		ニワシンドリの庭	常識的な見方にとらわれない自由な発想を学び、高校生活における言語活動を有意義なものとする心構えを養う	「自然」と「文化」の融合について理解を深め、「自然文化論」とはどのようなものか考える	ワークシート、 ディスカッション	・漢字テスト ・授業および課題への取り組み ・定期テスト
5		山月記	古典的な文章に触れ、現代に通じる人間の苦悩や葛藤について考える	漢文調の「変身譚」という表現形式・枠組みを味わい、登場人物の自我や運命の不条理といった近代的な精神の所産をめぐる問題提起に向き合う。 典拠『人虎伝』を比較読みする	ワークシート、 ディスカッション	・漢字テスト ・授業および課題への取り組み ・定期テスト
6	定期試験① 令和7年 6月2日―6月4日 範囲)					
6		・ベル・エポック ・奉教人の死	小説に多く表現される人間の孤独や死について考える	・登場人物の心情とその移り変わりを会話や行動の描写を通して把握する ・現代の小説に多く見られる人間関係の希薄さや孤独感が作中にどう表現されているか考える ・舞台となった場所や時代背景を理解する。「ろおれんぞ」のたどった運命を整理する。冒頭の詩の引用や、二部構成が作品全体にどのような効果をもたらしているか考える。芥川龍之介の文体・文学的知識・思想について理解を深める	ワークシート、 ディスカッション	・漢字テスト ・授業および課題への取り組み ・定期テスト
7		知識の扉	高度情報化社会を生きる人間にとって情報とは何かを考える	電子化の普及による文字文化の物質性の喪失と、私たちの身体の決定的な変化について考える。「内容」と「器」という比喻を、電子化の時代のなかで理解する	ワークシート、 ディスカッション	・漢字テスト ・授業および課題への取り組み ・定期テスト
7	定期試験② 令和7年 7月9日―7月11日 範囲)					
9		・鈴虫の間、ぼくの六雲間 ・ささやかな時計の死	・人間以外の生き物にもある普遍的な「間」について意識を向ける ・筆者の友人への追悼文をとおして、抑制の効いた特異な比喻表現を味わう	・英語を母語とするアメリカで生まれた筆者の日本語による随想を読んで、表現描写や筆者の感受性を味わう。日本やそれ以外の文化を見渡し、「間」という概念について考える ・時計のねじを巻くという行為、「ある日を境にして」時計はどのように変わったのか、また、そこに何を感じているのか、「亡くなった」「彼女」はどのような存在だったのか、その喪失感について、筆者の思いを読み取る	ワークシート、 ディスカッション	・漢字テスト ・授業および課題への取り組み ・定期テスト
10		神様	現実離れた物語の中に、〈他者〉との出会いを寓話的に描きだした物語展開を味わう	未知の相手と出会うとき、先入観や固定観念、他からの情報がどのように働いているのか考える。「くま」ということばが示す現実と虚構の二面性（野獣＝凶暴・メルヘン＝愛玩、などの異なる世界観）が読み手にとってどのように変容していくのかを確認する。「くま」との一日は「わたし」にとってどのような一日だったのか、また題名「神様」の意味について考える	ワークシート、 ディスカッション	・漢字テスト ・授業および課題への取り組み ・定期テスト
定期試験③ 令和7年 10月20日―10月22日 範囲)						
11		こころ	日本を代表する長編小説の一部（遺書）をとおして、登場人物それぞれの「こころ」について考察する	本文を輪読し、場面ごとの描写から人物の心情、中でも「精神的に向上心のないものはばかだ」ということばを「K」に投げつけた「私」の意図、「K」の「覚悟」ということばを「私」はどのように解釈し、どのような行動に出たか、「K」の自殺に直面した「私」の心の動きと良心の呵責を読み取る。夏目漱石の文体・文学的知識・思想について理解を深める	ワークシート、 ディスカッション	・漢字テスト ・授業および課題への取り組み ・定期テスト
12		・永訣の朝 ・旅情 ・死にたまふ母 ・俳句	短詩形式の文学表現を学び、自らの表現に役立てる	詩・短歌・俳句それぞれの形式や表現上の特徴、効果、工夫について読み解き、理解する	ワークシート、 ディスカッション	・漢字テスト ・授業および課題への取り組み ・定期テスト
12	定期試験④ 令和7年 12月10日―12月12日 範囲)					
1		舞姫	明治の代表的な文語文が持つ魅力について理解を深め、自らの表現に役立てる	本文を輪読し、語句の意味、文体や表現上の特徴を理解する。作品全体を通しての時代感、人間の生き方について知識を広げ、考えを深める。視点・立場、またプロットを変えたとき、物語全体がどう変化するかを考察する。森鷗外の文体・文学的知識・思想について理解を深める	ワークシート、 ディスカッション	・漢字テスト ・授業および課題への取り組み ・定期テスト
2		水仙	生き方を貫こうとすること、そのことが直面する問題に向き合い、自らの生きる姿勢について考える	本文を輪読し、場面ごとに内容をまとめる。作者の「芸術」に対する考え方を理解する。特別な「天才」の苦悩としてではなく、「各人の本分」という学習者自身の問題として作品を読み解く。太宰治の文体・文学的知識・思想について理解を深める	ワークシート、 ディスカッション	・漢字テスト ・授業および課題への取り組み ・定期テスト
3	定期試験⑤ 令和8年 3月4日―3月6日 範囲)					